

# 子どもの発達と保育「子どもの遊びと生活」体験実習

## 外部講師授業

### 「花さき山」「モチモチの木」紙芝居

### 「けん玉」「シャボン玉」遊び

1月22日(木)

太田市立尾島児童館を運営している NO 法人 ウイングおじまの正田文義さんら 4 名の方々を外部講師として招いた授業が実施されました。受講した生徒は、選択科目「子どもの発達と保育」を受講している 17 名。前半は、正田さんに紙芝居「花さき山」「モチモチの木」を上演していただきました。畳 1 畳ほど物ある板に描かれた「花さき山」の絵と、正田さんの老婆や童を演じる声の演技に生徒達は感動していました。後半は、児童館の青木先生に教わりながら自動文化財の製作をしました。トイレットペーパーの芯やヨーグルトの容器などの廃材を利用した「けん玉」作りを、楽しみながら行いました。また、青木先生が「われないシャボン玉」を持ってきて下さり、生徒達は童心にかえって遊んでいました。生徒が緊張せず、「遊び」に取り組めるよう、講師の方々は一人ひとり丁寧に指導して下さいました。受講生は体験的に子どもの遊びを考えることができ、笑顔の 1 時間でした。

#### 【生徒の感想】（抜粋）

○ 大きくて迫力のある紙芝居を見せていただいたり、けん玉の作り方を教えていただいたりして、とても楽しかったし勉強になりました。今回はこのような機会を作っていただきありがとうございました。

○ 紙芝居の話し方がすごく感動しました。モチモチの木の時は少し怖いくらいでした（笑）けん玉も道具が身の回りにあるもので出来るし簡単だから、子どもにも作らせたいです。シャボン玉は割れないことがすごくチャーチャー年を忘れてしまいました。



◇ 正田さんによる紙芝居「花さき山」を手伝う生徒。畳 1 畳ほどの木製紙芝居です。



◇廃材でつくる「けん玉」を真剣に製作